



教育委員会だより

「子ども」と「先生」から学ぶ 教職員の異校種体験研修

山北町では、「0歳から15歳までの一貫教育・保育」推進の一環として、「実践的な研修をとおして互いの教育・保育について理解を深めるとともに、山北スタンダードカリキュラムを踏まえた指導方法の工夫や授業づくりに役立てる」ことを目的に、今年度から園・小・中教職員の異校種間体験研修を行っています。

研修には、各園から小学校に1名ずつ、小学校から3園に各1名と中学校に1名、中学校から園・小学校に各1名が参加しました。この研修を通じた先生方の気付きをいくつか紹介します。



給食の用意の仕方などの様子や、子どもたちの集中を促す声かけなどが参考になりました。園でも同じ声かけをしていこうと思います。〔小学校を体験した園の先生〕



どの先生も、園児に注意を促す場面では決してマイナス的な表現をせず「こうしたら、どうかな?」と改善案を提示して、園児が自らの行いを正していこうとする態度を育てているように感じました。そういった対応が本当に大事であることに、改めて気付くことができました。〔園を体験した小学校の先生〕



中学校の授業を熱心に参観する小学校の先生



園児とお話する中学校の先生



小学生が楽しそうに学習し、元気に休み時間を過ごしている様子を見ることができました。外国語の授業では、ゲームなどを取り入れて、楽しそうに学習していて、英語を話すことにも慣れていることが分かりました。それらを中学校での授業作りに生かしたいと思います。〔小学校を体験した中学校の英語科の先生〕

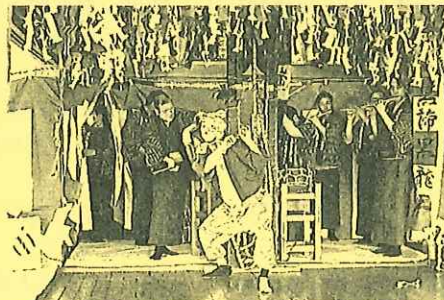
園や小学校の先生にとっては、この研修が異校種の教育・保育を知る貴重な体験となっただけでなく、自分関わった子どもたちが健やかに頼もしく成長している姿を見届けられた、嬉しい1日ともなりました。

世 附 の 百 万 遍 念 仏 4 年 ぶ り 開 催

2月17日・18日の2日間、コロナ禍を経て4年ぶりに約600年前から伝承されているという県指定無形民俗文化財の念仏信仰『世附の百万遍念仏』が、向原「能安寺」で開催されました。町内外から大変多くの方が訪れ、「まわし手」が念仏を唱えながら交替で302個の大数珠を回転させる全国的にも珍しい念仏芸や、静けさの中で鳴り響く迫力ある音とその厳粛さに圧倒されました。念仏に続いて演じられるのが、地域の安全や悪疫退散を願って祈りを捧げる獅子の舞や遊び神楽などです。披露された一つ一つの演目に、会場から大きな拍手が送られました。



長さ9メートル、302個の大数珠を回す「まわし手」

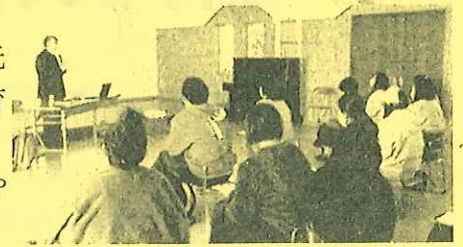


世の中を和やかにする舞といわれている「二上りの舞」



曾我兄弟が鳥さしに身を変じ、親の敵を討つまでの苦心を物語る舞といわれている「鳥さしの舞」

1月25日(木)、岸幼稚園で3つの園の先生方を対象に合同研修会が行われました。県内外の園や小学校で数多く出前授業をされておられる元早稲田大学教授の露木和男先生をお招きし「自然と出会い体験する中で育む心」について、20名の先生方がお話を聞きました。植物や昆虫と楽しくふれあうには下見や準備が大切であることや、「命への敬意、異文化や多様性の認め合い」が「やさしさ」につながることを学びました。



近くの草むらで小さな花を観察する先生たち

身近な自然からの小さな発見が、子どもたちにとっては「わくわく、どきどき」の感動となり、友だちや先生、家族が一緒になってその感動をわかちあってくれることが豊かな心を育てると語られた露木先生。

講義後には、園の近くの草むらに行き、先生方にフィールドワークを行っていただきました。普段見逃してしまいそうな草花も、よく観察してみると新たな発見があることに先生方も驚き、納得しながら熱心に語り合っていました。きっと、今後の保育にこの研修の学びが生かされていくことでしょう。

県立山北高等学校「地域との協働による報告会」から「今、できること」への第一歩を踏み出す

1月18日(木)、生涯学習センターにて第3回山北高等学校「地域との協働による報告会」が開催され、第1部では「高校生ならではの」視点が光る「山北町の特産品を新しく作ろう!」「山北町でグランピングを楽しもう!」「山北町の認知症問題を解決しよう!」「自然と光の“見る”イルミネーション」の4つが、町に提案されました。発表の際は、会場の皆さんに問いかけたり体験してもらったりし、会場全体を巻き込んで自分たちのアイデアを伝えようとする意欲に溢れていました。

第2部の座談会では、町民代表や教育ジャーナリストの方から「高校生として町に提案することまでできたので、次はどんな小さなことでもいいからぜひやってみてください。また違った学びになっていくと思います。」とアドバイスをいただきました。

そのアドバイスを生かし、報告会での提案から形を変えて実現したのが「山北町の認知症問題を解決しよう!」のグループです。2月26日、健康福祉センターで行われた「介護予防教室」の中で、高校生による「脳トレ」を実践しました。難しい動きがあっても高校生の声かけや動作に合わせて真剣に、でも笑顔いっぱい挑戦されている参加者の皆さんの心が、高校生をやさしく温かく包んでくださっているように感じました。

終了後に「また来てね」とリクエストもいただいた高校生が、「考えるだけで止まるのではなく、一歩踏み出すことの大事さを実感しました。」と交流を振り返りました。その学びが、次につながる何かを生み出す力になるのかもしれない。



始めに皆さんの前で「脳トレ」のやり方を説明して、やっていただきました



休憩時間に、「脳トレ」しながら交流しました

お知らせ

山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」の5分野カリキュラム(第1集)を刊行しました。こども教育課カウンター・生涯学習センター、町のホームページ(インターネット)で閲覧できます。

教育委員会の審議事項

令和6年

○第1回(1月24日) (第1回~第2回・協議会)

- ・教育長報告
- 協議会(1月24日)
- ・令和5年度冬の星座教室について
- ・第78回市町村対抗かながわ駅伝競走大会について



○第2回(2月19日)

- ・教育長報告
- ・山北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ・山北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

- ・山北町放課後児童クラブの設置及び運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- ・令和6年度当初予算案の概要(教育費)について
- 協議会(2月19日)
- ・令和5年度卒園式・卒業式について
- ・山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」カリキュラムについて
- ・県立山北高等学校「地域との協働による報告会」アンケート結果について
- ・第78回足柄上地区一周駅伝競走大会及び第78回市町村対抗かながわ駅伝競走大会の結果について
- ・令和5年度スプリングスクールについて
- ・第67回山北町親睦ゴルフ大会について